

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
大塚戸芸能保存会

Page 4-12

かけはし一般質問
12月定例会議

Page 12-14

審議案件と結果
12月定例会議

Page 14

令和6年能登半島地震災害義援金
2024はたちのつどい
常総市消防出初式
令和6年常総市賀詞交歓会

Page 15

常任委員会行政視察報告

Page 16

常総橋百景
「第十三景 平和橋」

No.245

発行月：2024年2月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





副会長 染谷 栄さん



副会長 長妻 忠雄さん



会長 横島 進さん



かけはし インタビュー

市議会

×

大塚戸芸能保存会



市議会(以下、議会)

大塚戸芸能保存会(からくり綱火)活動のきっかけ、歴史について聞かせてください。

会長

綱火の始まりは万治2年(1659年)が起源と言われています。現在、北海道あすなろの里の宿舎(向山地区)になっているところに、三峯神社と言われる神社があり、その神社の開基に当たり、からくり綱火を内容とする火祭りを奉納したことで始まりと言われています。当時は向山地区の住民が主となり行われていましたが、途中で途絶えてしまいました。昭和43年7月に「大塚戸ばか囃子」の会合で芸能保存会を作ろうということになり、昭和44年1月に「からくり綱火」と「大塚戸ばか囃子」が一緒になって大塚戸芸能保存会が発足しました。

議会

主な活動内容について教えてください。

会長

毎年6月上旬にその年の綱火の芸題を決め、8月から毎週日曜日に制作と練習をしています。令和5年は「日高川道成寺安珍と清姫の物語」という芸題で、8月6日から製作と練習を開始し、9月16日土曜日に奉納しました。

議会

活動を続けてきて良かったことを教えてください。

会長

大塚戸の綱火も平成11年11月に茨城県無形

文化財に指定されるなど、昔からの地元の伝統的な芸能を維持出来ていることが良かった点です。

議会

大塚戸芸能保存会の活動である綱火の見どころやポイントはどんなところですか。

会長

「日高川道成寺 安珍と清姫の物語」の芸題において、清姫が舞台から安珍を追ってくる場面があります。この清姫が空中で7メートルの蛇体（蛇の姿）にバリバリと変化するところがうちの特徴であり見どころです。綱火はつくばみらい市に小張松下流、高岡流が



綱火の準備・調整している様子



からくり人形を綱で捜査している様子

ありますが、私たちの綱火は葛城流と言います。葛城というのは一言主神社の総本社である和歌山県の葛城神社からきています。

議会

今後、大塚戸芸能保存会を継続するために必要なことは何ですか。

会長

活動が長く続けられているのは、一言主神社、奉賛会の皆さんの協力や寄付などのおかげで続いているのでありがたいです。継続に

向けては、現在会員23名いますが高齢化してきているので、継続会員募集が念願です。綱火は毎年9月に開催していますので、是非、見に来ていただきたいです。

（令和5年12月インタビュー）

今回の綱火で実施した芸題 【日高川道成寺 安珍と清姫の物語】

参拝の途中、一夜の宿を求めた僧の安珍に清姫が思いを寄せたが、裏切られたと知るや大蛇となって川を渡り安珍を追い、最後には道成寺の鐘の中に逃げた安珍を焼き殺すという物語



清姫が蛇に変化した場面



安珍が船で川を渡る場面

綱火の映像や概要はこちらから



映像



概要

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員

令和5年10月20日の新聞を見て、当市における現在の時給では近隣市町村と比べて会計年度任用職員の人材確保が難しいのではないかとと思われる。全職員に占める会計年度任用職員の割合はどのようになっているか伺う。

総務課長

常勤職員が533名、会計年度任用職員が342名、合計875名で割合は39・1%となる。

議員

なぜ他の市町村は賃金が高いのか伺う。

総務課長

総務省のマニュアルでは、地域手当を報酬水準に加えて差し支えないとされている。常勤職員に地域手当が支給されているつくば市、守谷市、つくばみらい市については、会計年度任用職員の時間給も地域手当の割合分だけ高く定められているものと考えている。

議員

現在の賃金体系では人材確保が難しくなってくるのではないかと思うかがか。



柴典明 議員

質問
会計年度任用職員の人材確保について

答弁
昇給に関する制度作りを進めていきたい

柴議員の
質問動画



総務課長

地域における民間事業所の給与水準とも均衡を考慮すべきであり、市役所の募集内容があまりにも良すぎる条件となつて、民間の求人を圧迫することがあつてはならないと考えている。

議員

今後、勤務年数による引き上げをどう考えているのか伺う。

総務課長

今後は、昇給を行っている市町村の内容を十分精査しながら、昇給に関する制度作りを進めていきたい。

議員

最後に市長から、会計年度任用職員、正規職員、常総市職員組合へメッセージをいただきたい。

市長

地域手当については、当市単独でも総務省、人事院に要望していると考えている。また、職員の提案を実現に結び付けるのも大事な部分であるため、労働組合の意見も尊重しながら、これからも対話を重ねていきたい。



岡野 一男 議員

質問 予防接種の助成額を2千円から千円になぜ変更したのか

答弁 限られた予算内で多くの市民に接種してもらうため

岡野議員の質問動画



議員

今年インフルエンザの流行が懸念されている。当市の児童生徒の罹患状況について伺う。

教育部長

罹患者数は、9月が15名、10月が329名、合計344名である。

議員

児童生徒以外の罹患状況について伺う。

保健衛生部長

保健所ごとの定点観測のため、当市だけの罹患状況の把握はできない。例年では人の移動が活発になる年末年始、空気が乾燥する3月ぐらいにかけて流行するため注意が必要になる。予防対策が一番重要と認識している。

議員

当市のインフルエンザ予防接種の助成額は千円。この助成額の決定の経緯について伺う。

保健衛生部長

予防接種への関心が高まっている中、限られた予算内でより多くの市民の方に受けてもらうために、助成額を従来の2千円から千円とした。近隣の市町村は2千円であ

る。

議員

接種希望者が多くなり、予算の関係で千円にしたというが、助成額は他市と同様に2千円に戻してほしい。

保健推進課長

接種率の推移を注視し、検討していきたい。

議員

市民が医療機関に支払う自己負担金は、各医療機関によって異なるが、その理由はなぜか。

保健衛生部長

予防接種は医療保険適用外であり、自由診療となるため、接種費用は各医療機関で設定している。

議員

同じワクチンを使用しているならば、同一料金でもよいのではないか。医療機関に要望できないか。

保健推進課長

自由診療なので、要望は難しい状況である。

議員

自由診療の壁は高いが、国へも要望してほしい。助成額についても早急に対応してほしい。



石塚 剛 議員

質問 アグリサイエンスバレー事業の初期成果と今後のまちづくりについて

答弁 今後も人口減少対策及びシティプロモーションを積極的に展開していく

石塚議員の質問動画



議員

道の駅常総のオープンから現在までの状況を伺う。

アグリサイエンスバレー整備課長

観光入り込み客数の目標値105万6千人に対し、既に道の駅常総のみで百万人以上を達成している。休日滞在人口率も上昇し、滞在されるまちに変化している。

議員

まちづくり計画の進捗と成果について伺う。

産業振興部長

約半年間でテレビ放映20件以上、ラジオやウェブ、雑誌等も含めると約250件以上の掲載で多くの注目が集客につながっている。第11回プラチナ大賞においてアグリサイエンスバレー常総が大賞・総務大臣賞を受賞、全国的に取り組みが認知される成果を得た。今後とも温浴施設の開業や公園の整備を控えており、集客効果の継続、拡大に取り組んでいく。道の駅常総を活用した農産物の出荷売上も地域生産者の所得向上に寄与している。

議員

まちづくりの今後を伺う。

市長公室長

当市のまちづくりの指針となる「じょうそう未来創生プラン後期基本計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2つの計画に沿った事業を展開していく。

議員

アグリサイエンスバレー事業の総括、所見を市長に伺う。

市長

アグリサイエンスバレー常総は、関係者の皆さんと総力戦で成功を収められたと感謝している。また、様々な企業とパートナーシップを結ぶ中、AI活用の自動走行の仕組みづくりで世界のホンダに選んでいただいたのは、大きな副産物である。今後も人口減少の歯止めとなるような施策、シティプロモーションを積極的に展開したい。

議員

未来創生の推進と安心して住み続けられるまちづくりに大いに期待する。



吉原 晴照 議員

質問

常総市立小中学校
適正配置実施計画について

答弁

10年から15年程度を見通して適正規模
及び適正配置を検討し進めている

吉原議員の
質問動画



議員

全国的に小学校の児童数は激減
しているので、市内小学校の今年
度の児童数と5年後の見通しを伺
う。

教育部長

令和5年5月1日現在の市内13
小学校の児童総数は2736人、
令和10年には558人減の217
8人となり、減少傾向が続く見通
しである。

議員

適正配置実施計画の第2段階の
対象になる五箇小学校と大生小学
校の5年後の1年生から3年生の
各学年の児童数の見込みを伺う。

学校教育課長

五箇小学校は1年生が5人、2
年生7人、3年生が5人となる。大
生小学校は1年生が10人、2年生
が6人、3年生が7人となる。

議員

五箇小学校と大生小学校の5年
後の1年生から3年生の児童数は
激減しているため、早急に第2段階
の統合の検討が必要と考える。同
じく、適正配置実施計画の第2段
階の対象になる石下東部の石下小

学校、玉小学校及び豊田小学校の
3校は今年度の児童数が564人
に対して、5年後は125人減と
なる見込みであるが、3校の5年
後の1年生から3年生の各学年の
児童数の見込みを伺う。

学校教育課長

石下小学校は1年生が35人、2
年生が49人、3年生が46人となる。
玉小学校は1年生が9人、2年生
が10人、3年生が8人となる。豊
田小学校は1年生が19人、2年生
が11人、3年生が10人となる。

議員

石下東部の小学校3校の統合に
ついては、新校舎の計画も含める
と、財政的な課題もあるので、計画
は優先項目を決めて、工程表はパ
ート法の考えを取り入れることを
提案する。教育長に、今後進めて
行く統合についての所信を伺う。

教育長

市内の全小中学校を対象に、10
年から15年程度を見通して適正規
模及び適正配置を検討するための
取り組みを進めている。また、保
護者や市民の皆さんと一緒に考え
て適正配置を推進する考えである。



草間 典夫 議員

質問

旧大花羽小学校施設の
利活用プランについて

答弁

サウンディング型市場調査等を実施し、
公募による活用事業者の選定を進めていく

草間議員の
質問動画



議員

校舎空き教室及び体育館、グラ
ウンドの利活用について、その後
どのように検討しているか伺う。

総務部長

サウンディング型市場調査等を
実施して活用アイデア、事業方式、
運営体制及び事業化への課題や条
件等を把握した上で、公募による
活用事業者の選定を進めていく。

議員

地域開放エリア（旧校長室・放
送室）の活用方法について伺う。

総務部長

平日の日中については、事務連
絡等の手続きをすることなく使用
可能である。出入口は校舎東側の
職員玄関とし、窓口での声かけと
利用記録表に記入をして利用する。

資産活用課長

土日、祝日及びシルバー人材セ
ンターの閉所時における利用につ
いては、事前に資産活用課で受け
付ける。室内には長テーブル、パ
イプ椅子が配置してあり、15名程
度の利用が可能である。
学校教育課長
旧大花羽小学校にゆかりのある

記念品や思い出の品等を、地域
の方の目に触れる場所に展示して
おけるよう、地域の方々にご協力
いただきながら、室内の環境づく
りをしていく。

議員

校舎の有効な利活用を隣接する
公民館と併用していく上で、公民
館の改修計画について伺う。

教育部長

大花羽公民館の改修については、
特にホール床の傷みが激しいこと
から早急な修繕が必要と認識して
いる。今後、各公共施設の老朽化
に伴う修繕については、優先順位
を設け計画的に実施していく。

議員

大花羽小学校に設置されていた
遊具（ターザンロープ）の菅原小
学校への移設について伺う。

教育部長

安全面及び費用面の観点から、
移設ではなく新設を計画し、その
工事費を補正予算に計上してある。
施設の有効な利活用については、
先送りにすることなく、具体的
かつ適切な対応を早急にお願
いする。



入江 超史 議員

質問
常総市農業の現状と支援方針
(農業基本計画) について

答弁
市内農産物の加工品開発を推進し、
新たな収入確保対策として進める

入江議員の
質問動画



議員
次期計画の策定作業は、農業基本計画をどのように総括し、どのようなことを留意して行うのか。

産業振興部長

この5年間で世界情勢や国内市場、気候変動などにより市内の農業を取り巻く環境も急激に変化している。その変化に対応すべく、次期計画である常総市農業ビジョン策定の検討の中で、当市として何を重要視した施策とすべきかを協議している。具体的には農業ビジョンにおいて、上位計画である常総市未来創生プランに掲げる、5つの目標を踏まえつつ、時代に対応した当市の農業に取り組むべき方向性を示すこととしている。令和5年4月に開業した道の駅常総については、メディア等からも注目されており、単なる農産物や農産加工品等の販路としてだけでなく、これまで以上に農業施策を実現できる場になりたいと考えている。当市の農業ビジョンは、令和5年度中の策定を予定しているが、策定後はその掲げる方向性や考え方を農業者や市民の皆さんに理解し

てもらえるよう、周知や説明にも力を入れていく。

議員

農村地区の景色は、この5年でもかなり変わっている。地域を歩くことで、いかに農業が地域の根幹であるのかを感じるようになった。次期農業ビジョンは、農業のみならず、地域を支える、地域の在り方をどのようにしていくのかを考える基礎になるため、大変重要なものである。課題は多く、策定は大変だと思うが、妥協なく取り組んでいただきたい。議員の立場からも協力していく。

答弁にもあった周知と説明という点について申し上げたい。一番知ってほしい方に、情報が伝わっていない現状がある。この点は大きな課題だと思うので、取り組む際はよろしく願います。



塚本 治男 議員

質問
持続可能な農業と常総市の将来
を見据えた農業振興について

答弁
農業の6次産業化及び
AI×農業を進めていく

塚本議員の
質問動画



議員
農業を取り巻く環境は、農業者の著しい高齢化や担い手不足による農業従事者の大幅な減少、耕作放棄地の増加、気候変動に伴う大規模自然災害等による生産基盤の脆弱化という状況である。そしてコロナ禍での外食需要の減少による米価の大幅な下落や野菜価格の低迷、さらにロシアのウクライナ侵攻や急激な円安により穀物価格、原油価格、生産資材の高騰などにより農畜産物への影響は長期化し、農業は厳しい状況が続いている。

農業委員会事務局長

遊休農地の所有者、担い手農家と地域での合意形成を築き、遊休農地の解消と発生防止に努める。

議員

市長が考える当市の農業の将来ビジョンについて伺う。

市長

新しい農業の在り方を築いていく上で、生産者の声に耳を傾けて6次産業化を進めていきたい。持続可能という意味ではICT化、AI×農業が大事であり、アグリサイエンスバレー常総の中でも展開されている。AIまちづくりの中で大きな柱の一つとして、当市と連携しているホンダの世界的な技術をAI×農業というところで当市から発信する取り組みも、今後、本格化してくる。農業は大事な基幹産業であるため、関係者の指導をいただきながら前進していく。

地域農業の発展を望む家族農業者からは、農業を継続したいという声もあり、当市としてはどのような政策を考えているのか。高齢化による担い手不足への対応について尋ねる。

産業振興部長

新規就農者の確保に向けた支援強化と合わせて農業関連企業の積極的な受け入れ、さらに障がいのある方が農業に従事する農福連携も推進していく。

議員

耕作放棄地への対応を伺う。

議員

積極的な6次産業化、ふるさと納税返礼品の地元産品の拡充への取り組み、農業規模に関係なく、希望ある持続的な営農が可能な当市を作り上げていくことを要望する。

【AI】人工知能の略称 【ICT】パソコンだけでなく、スマートフォンやスマートスピーカーなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称 【耕作放棄地】以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け(栽培)せず、この数年の間に再び作付け(栽培)する意思のない土地

令和5年3月、文部科学省から誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策として発表された。大きくは3つあり、『1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を提供し、学びたいと思った時に学べる環境を整える。2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する。3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする。』が挙げられている。

議員



柳井 真吾 議員

質問 登校できない児童・生徒、保護者の支援について
答弁 不登校児童・生徒の学びの場の確保を心がけて取り組んでいく

柳井議員の質問動画



教育部長

水海道中学校夜間学級を学びの多様化学校として指定することについては、不登校生徒の学びの場の選択肢が増え、また、年齢や国籍が違う生徒との交流により社会的自立に向けての様々な効果が期待できる。しかし、現状で夜間学級と学びの多様化学校という2つの性質を有する夜間中学校は、全国で1校のみという状況である。また、水海道中学校夜間学級への当該多様化学校併設に関する課題等も現時点においては見えていないところもあるため、今後調査研究をしていきたいと考えている。

議員

まずは、不登校児童・生徒へのアンケートなど、ニーズ調査、調査研究をしていただきたい。不登校で悩んでいる児童・生徒のためにも、夜間学級と学びの多様化学校の併設の検討を一日でも早くお願いしたい。

【その他の質問】

★自転車交通安全対策について

議員



中村 安雄 議員

質問 坂手地区染色団地に隣接した工場建設予定地の環境保全について
答弁 茨城県の条例と連携して対応に努めていく

中村議員の質問動画



保健衛生部長

坂手染色団地に隣接した工場建設予定地の環境保全について伺う。

当市の公害防止条例を筆頭とした環境法令では、事業者に対して地元住民の健康や生活環境を保全するために必要な措置を講じるよう指導するとともに、設置する予定の施設が届出に該当する場合には事前に届出するよう指導を行っている。また、建設される工場敷地外へ処理水や雨水を放流するのであれば、茨城県と連携して放流基準を遵守するよう指導を行う。放流には放流先の管理者への申請や放流同意が必要になるため、管理者へ相談するよう指導する。産業廃棄物関係の法令については、茨城県の指導の下、対応していく。現在、廃棄物に該当しない再生資源物を屋外保管している事業者に対して、茨城県で条例化を進めており、令和6年4月1日の施行を目指している。素案では、許可制の導入や保管基準等に触れており、行政処分や罰則規定も盛り込まれる予定と聞いている。今後は茨城

議員

県全体で法令が強化されるため、茨城県と今まで以上に連携をして、事業者に対して法令を遵守するよう指導していく。

市長

茨城県の条例は令和6年4月1日施行予定であるが、既存の事業者に対して立入検査や業務停止などの罰則も適用される内容になっているので、そういう部分も期待をしている。また、水田が南側にも広がっており、放流先の同意がなければ放流はできないので、関係者の意見を踏まえながら、茨城県の条例としっかり連携をして、当市としても精一杯の対応をしていく。

議員

罰則を含む強い内容の条例であれば、地域の生活を破壊しないで済むことになると思われるので、期待をしていきたい。



中島 義昭 議員

質問 水海道元町の特定空き家等解体工事のその後について

答 弁 今後地元の皆さんからの意見をいただきながら協議していく

中島議員の質問動画



議員 特定空き家解体工事後の現状について伺う。
都市建設部長 昨年度、長らく管理不全の状態であった水海道元町地内の特定空き家を解体することで、周辺住民や歩行者等への危険防止、またなかへの玄関口でもある豊水橋周辺の景観改善を図った。当該地は国土交通省下館河川事務所と茨城県の鬼怒川沿川7市町で連携して取り組んでいる鬼怒川・小貝川かわまちづくり水辺整備事業において、水海道河岸跡リバースポットとして位置付けられている。現在の状況としては、国土交通省下館河川事務所とリバースポットの全体の整備計画について協議を進めている。中でも隣接する豊水橋側の国道及び東側の市道の歩道が非常に狭く、危険な状態であることを鑑みて、今回の整備事業に併せて歩道の拡幅を計画しており、道路管理者である茨城県常総工事事務所との調整等も同時に実施している。

議員 今回、地元住民に有効活用についてアンケートを行い、公園整備、歩道の拡幅、思い出となる場所等の意見を貰った。その意見を反映していただけるように要望する。また、今後の計画について伺う。

都市建設部長

水海道河岸跡リバースポットの事業として、今年度は歩道を拡幅するための測量及び詳細設計を行っている。来年度は、リバースポットとしてサイクリングロードやまちなかへの誘導サイン、ベンチ等の整備や南側の親水公園をリニューアルするための改修設計及び工事を実施する計画である。また、リバースポットや親水公園の改修整備に当たっては、今後地元の皆さんから意見をいただきながら協議していきたい。

議員

国、県、市が連携して基盤整備、サイクリング観光事業の推進を当市の予算だけではなく、国、県と連携し当市や地元住民の皆さんにとって最良な計画を打っていただきたい。

【他の質問】

★友好・姉妹都市の締結について



堀越 道男 議員

質問 再生资源物の置き場条例を市独自でも作るべき

答 弁 茨城県条例により、法令の強化が見込まれるので、県と連携し事業者に対して指導を行っていく

堀越議員の質問動画



議員 再生资源物(有価物)の置場について、茨城県が条例を作れば、当市の条例は作らない意向と思われるが、それで良いのかお聞きしたい。

保健衛生部長

再生资源物を屋外保管している事業者に対して、茨城県で現在条例化を進めており、施行予定日は令和6年4月1日を目指している。既存事業者を含め許可制の導入や保管基準等について触れており、行政処分や罰則規定も盛り込まれる予定である。

議員

問題は立地基準である。千葉市の条例では、住宅等から屋外保管事業場の敷地の境界までの距離が100m以上離すこととあるが、茨城県の条例には立地基準がない。条例に不足がある。千葉市のように市独自の条例が必要だと思う。市の対応をお聞きしたい。

生活環境課長

茨城県の条例では、新規に設置する場合は、住宅等の敷地から100m以上離れた土地に設置するとい

う立地基準が盛り込まれていない。その理由は事業者の営業の自由を過剰に侵害するおそれがあるということである。

議員

業者の営業権を自由にするのか、住民の環境の安心安全や生活を守るのか。県の責務は、市町村が講ずる屋外保管に関する措置について必要な技術的助言及び協力を行うものとするであり、地元の自治体の役割が求められている。市独自の条例は必要ではないのか。

市長

立地する場所の問題と周辺住民の環境の問題が相反する部分が出てきているのは議員が言うとおりだと思う。単独自治体で条例を作っている首長と話をしたが、効果という部分が出てこないという話も聞いている。関係機関と密接に連携して、住民の皆さんの生活環境をしっかりと守っていく最善の努力を重ねていきたい。

議員

住民が住んでいる身の回りについて関心が高いだけに、市独自の条例を作るべきである。



佐藤 剛史 議員

質問

常総市における
いじめ対策について

答弁

全てのいじめ問題に対して
体制の充実を図る

佐藤議員の
質問動画



議員

いじめにおける初期対応は、どのような状況か伺う。

指導課長

いじめや悩みに関するアンケートの毎月実施と教育相談を随時行い、早期にいじめを発見できるようにしている。いじめを認知したら関係する児童生徒への事実の確認を速やかに行い、学校いじめ対策組織でいじめに係る状況を共有し、学校全体の対応方針を定める。その上で関係児童生徒、保護者に連絡をして、解決に向けての指導や話し合いを進めている。

議員

いじめ防止対策推進法の中では、いじめが起こったら対応するのではなく、いじめと捉えられる場合は対応するとなっているが、現場でのスピード感が見られず対応がうまくいかなかったケースがある。大変残念であり、あってはならないことである。学校の現場における対応については、どの学校についてもマニュアルどおりに徹底して、ばらつきのない細やかな対応を望むが当市の考えは。

指導課長

各学校における対応については、いじめ防止基本方針に基づいて適切に行うよう指導している。今後各学校において対応の違いが出ないように指導、支援を行っていく。

議員

保護者に向けた情報提供については、どのようなになっているのか。

指導課長

各学校のホームページにいじめ防止基本方針を掲載し、いじめの定義、いじめが発生した際の対応方法について公開している。

議員

守谷市では、年度の初めに学校のいじめに対する姿勢を保護者に伝え、意思疎通を図っている。初動が大切と考えるが当市の考えは。

指導課長

近隣市町村の取り組みを参考に、基本方針が一目で分かるいじめ防止リーフレットの作成を検討する。更に、いじめ問題や不登校について集中的に取り組むセンター的機能をもった、適応指導教室の組織づくりも検討する。全てのいじめ問題に対して体制の充実を図る。



遠藤 章江 議員

質問

令和5年度の花火大会、有料席に
有料駐車場。でも儲けは20万ほど!?

答弁

今後、市内と市外、子どもの金額等
も含めて検討する

遠藤議員の
質問動画



議員

常総きぬ川花火大会について、その運営について伺う。

産業振興部長

花火の打上げ、資材の設営、音響や仮設トイレ等は、長年この花火大会で実績ある業者に委託し、市職員及び商工会、青年会議所、商工会女性部、シルバー人材センターなど各種団体の協力を得て準備から片付けまでを行った。

議員

花火大会の収支について伺う。

産業振興部長

収入は市からの補助金一千万円、花火の打上げ協賛金並びに有料席の販売協賛金で合計約6300万円である。有料席の販売状況はマス席1803マス中1296マスの販売、椅子席920席中856席の販売、プレミアムシート169席は完売、全体で72%の売り上げだった。事前販売は、2831万9500円、当日販売は229万3千円の収入だった。支出は花火費3393万円、警備費426万円、事務経費等、全て含めて約6200万円の見込みである。収

支は数十万円のプラスが見込まれる。

議員

市民からの声を伝える。当日券を千円増額したため、親から2千円もらって楽しみに出かけた中学生がお金が足りず見られなかった。有料席の値段が高い。長時間、広範囲に交通規制をされて通行許可が無いと家にも戻れなかった等である。

商工観光課長

今後は市内と市外、子どもの金額等も含めて考えていく。交通規制は事故防止のために警察等の指導もあった。

議員

売れ残りが507マスもあり、儲けは20万円ぐらいのイベントである。迷惑をかける近隣住民には一番良い観覧席を用意する等、市民の理解を得ながら、市民が楽しみにして喜んでくれる花火大会でないと、遠くから電車に乗ってくる人が増えても、地元の発展のためにはならず、盛り上がらない。今後は無料席を設けるなど大きく改善を望む。



茂田 信三 議員

質問

歳出を抑えて住民サービスを

答弁

そのとおりである

茂田議員の
質問動画



議員

物価高や税収が伸びない現状において、令和6年度の予算の重点目標と今後の展望について

総務部長

議員の指摘のとおり、経費が増加している。事務事業の見直しを図り歳出削減に努めていく。

議員

私が聞きたいことは、工業団地を誘致するとか、どのように税収を上げるかである。アグリサイエンスバレーのグッドマンやツタヤなどは、ドル箱である。道の駅常総は何百万人が来場しても潤うのは指定管理者だけである。当市にプラスになるためには、来場した人を街に回遊させることである。そうでなければ街が潤わず、建物や空調器具などが消耗するだけである。

行財政改革課長

新しい産業団地を創出する取り組みを行っている。

議員

工業団地の5社で法人税の約6割を占めている現状で、大手企業が撤退する話を聞いているが、ど

のように考えているか。

行財政改革課長

その様な場合、別の業者を誘致する流れになる。

議員

工業団地を誘致した投資資金を何年で回収するか。それが今後の当市の浮沈に掛かっている。

行財政改革課長

議員の指摘のとおり、投資資金を何年で回収できるかということである。今後は行政がやるのではなく、民間主導、あるいは民間と行政が連携して進めていく。

議員

ようやく、私が再三再四言っていることを理解してくれた。道の駅常総も民間がやるべきであった。行政がやるべきことは、インフラ等の整備である。課長答弁のように民間に事業はやらせて、行政は下地だけで良い。今後、物価が上がり、予算の3割は目減りしているがどのように考えているか。

行財政改革課長

議員の指摘のとおり、住民サービスを減らさず、それ以外の経費を当面は抑えていく。



小林 剛 議員

質問

国策の移民政策に自治体は対応できていない。国へ問題を提起すべき！

答弁

市長会等に問題を提起していく

小林議員の
質問動画



議員

国民健康保険税及び市税の滞納状況について伺う。

総務部長

令和4年度、国民健康保険税の滞納額は3億103万218円、市税の滞納額は2億679万67092円である。

議員

日本人世帯と外国人世帯の割合と滞納額について伺う。

総務部長

日本人の割合は63.2%で、滞納額は3億488万9千133円50銭、外国人の割合は36.8%で、滞納額は2億341万7187円である。

議員

外国人の在留資格別及び国籍別の滞納状況について伺う。

総務部長

税務課で管理している徴収のシステムは、在留資格や国籍を管理していないので、把握していない。

議員

国は移民政策を執っており、10月13日に知事会も外国人労働者の受け入れを国に提言している。当

市も工業団地の拡大を進めるうえでは、今後、益々外国人が増えていく中で在留資格別や国籍別に管理するシステムは必要ではないか。

総務部長

納税者の状況を把握するという意味では必要である。システムの導入は、多言語化への対応等にかかる経費との兼ね合いを勘案しつつ、検討する必要があると認識している。

議員

国の移民政策によって地方自治体では、賃金などの弊害が起きている。これは自治体ではどうにもならないことであり、国は外国人を入れるに当たり、細部までの法整備が必要である。当市は県内で外国人の比率が1番多いため、全国市長会等あらゆる機会を通じて、国へ提言できないか市長に伺う。

市長

少子高齢化で外国人労働者が居なければ成り立たない状況となっている。システムの問題についても今回の議論したところで、いろいろな課題を市長会等に問題提起をしていく。



倉持 守 議員

議員

2019年3月に都市計画道路鹿小路細野線(通称・西幹線)が開通し、坂手工業団地には工場が建設され、産業道路としての役割を担っている。現在、滝下橋は大変混雑しており、市民にとっては重要な橋である。守谷市においてヤクルトスワローズの2軍本拠地を構えることが発表され、更なる混雑が予想される。2019年には滝下橋で衝突事故があり、通行困難な時期があったことを踏まえ、当市議会と守谷市議会で新滝下橋建設促進議員連盟を結成し、茨城県に要望活動を行ってきた。西幹線の延伸と滝下橋の架け替えについて当市の考えを問う。

都市建設部長

西幹線道路の実現に向けては、引き続き鬼怒川ふれあい道路建設期成同盟会を通しての要望活動をはじめ、守谷市とも相互に連携し、茨城県と事業の具体化に向けた調整を図っていく。新滝下橋の建設は、災害時の輸送路の確保のほか、内守谷地内の玉台橋付近の慢性的な渋滞解消の一助になると考えて

質問
西幹線道路の延伸と新滝下橋の実現に向けて
茨城県と事業の具体化に向けた調整を図っていく

倉持議員の質問動画



議員

いる。
コロナ禍の影響で要望活動も中断していたが、今年度は新滝下橋建設促進議員連盟を再開し早急な方向づけを進めるといった話も聞いている。守谷市との協議の進展状況を伺う。

地域拠点整備課長

コロナ禍の影響で守谷市と調整が難しい状態であったため、情報共有なども含めて連携を再開する調整を図っている。

議員

当市の担当も連携を再開するということが期待している。市長にもかなりの尽力いただかなくてはと考えるため、市長の意見を伺う。

市長

鬼怒川ふれあい道路の南側への延長を公約にも掲げている。現在、鬼怒川ふれあい道路建設期成同盟会の会長も務めており、関係者と共に実現に向けて前進していくために頑張っていく。

議員

新滝下橋の架け替えに全力で、投球していければと考える。

令和5年12月 定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件で14ページに掲載しております。

議案番号	議 案 名	内 容	審議結果
議案第80号	常総市行政組織条例等の一部を改正する条例について	市長の直近下位の内部組織のうち、保健衛生部を廃止するとともに、各部等において所掌する事務の見直しを図り、その移管に係る改正を行うほか、関係する条例において、規定の整理に係る改正を行うもの	可決
議案第81号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	地方自治法の一部改正に伴い、監査委員条例、市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例、下水道事業の設置等に関する条例及び水道事業の設置等に関する条例において引用する同法の条項番号を改めるもの	可決
議案第82号	常総市児童デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	常総市児童デイサービスセンターにおいて実施する事業に係る規定の整理を行うほか、その引用する法律の改正に伴い、用語の整合を図る等の改正を行うもの	可決
議案第83号	常総市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	特定教育・保育施設等の運営に関する基準を定める内閣府令が改正されたことに伴い、条例中の規定を府令と同様の内容に改めるもの	可決
議案第84号	指定管理者の指定について(常総市児童デイサービスセンター)	児童デイサービスセンターにおける指定管理者として、社会福祉法人常総市社会福祉協議会を指定するもの	可決
議案第85号	指定管理者の指定について(常総市心身障害者福祉センター)	心身障害者福祉センターにおける指定管理者として、社会福祉法人常総市社会福祉協議会を指定するもの	可決
議案第86号	指定管理者の指定について(常総市水海道児童センター)	水海道児童センターにおける指定管理者として、社会福祉法人常総市社会福祉協議会を指定するもの	可決
議案第87号	指定管理者の指定について(常総市三坂児童館)	三坂児童館における指定管理者として、社会福祉法人常総市社会福祉協議会を指定するもの	可決
議案第88号	常総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	地方税法の一部改正により、出産する被保険者に係る産前産後期間における国民健康保険税の減額措置が講じられたことに伴い、当該減額措置の実施に必要な改正を行うもの	可決
議案第89号	常総市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について	教育機会の拡充を図ることを目的として、奨学資金貸与制度の対象校に専修学校の専門課程を加える等の改正を行うもの	可決
議案第90号	市道の路線の認定について(西1242号線)	篠山地内の道路について、民間の開発行為に伴って寄附を受けたので、市道として認定するもの	可決
議案第91号	市道の路線の廃止について(3352号線)	菅生町地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第92号	市道の路線の廃止について（東3号線）	若宮戸地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードと路線が重複することから、その認定を廃止するもの	可決
議案第93号	市道の路線の廃止について（東657号線）	新石下地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードと路線が重複することから、その認定を廃止するもの	可決
議案第94号	市道の路線の廃止について（東15号線）	若宮戸地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、道路としての機能が失われたことから、その認定を廃止するもの	可決
議案第95号	市道の路線の廃止について（東16号線）	若宮戸地内の路線について、鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備に伴い、道路としての機能が失われたことから、その認定を廃止するもの	可決
議案第96号	市道の路線の変更について（1013号線）	三坂町地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の起点及び終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第97号	市道の路線の変更について（1481号線）	当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから当該重複する部分を廃止するとともに、現況に即した路線とすることとし、当該路線の起点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第98号	市道の路線の変更について（1491号線）	水海道森下町地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第99号	市道の路線の変更について（1714号線）	水海道亀岡町地内の路線について、鬼怒川サイクリングロードに接続させるとともに、現況に即した路線とすることから、当該路線の終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第100号	市道の路線の変更について（1715号線）	当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから、当該重複する部分を廃止するとともに、現況に即した路線とすることとし、当該路線の起点及び終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第101号	市道の路線の変更について（東1号線）	若宮戸地内の路線について、当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから、当該重複する部分を廃止するとともに、現況に即した路線とすることとし、当該路線の起点及び終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第102号	市道の路線の変更について（東2号線）	若宮戸地内の路線について、当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから、当該重複する部分を廃止することとし、当該路線の起点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第103号	市道の路線の変更について（東272号線）	若宮戸地内の路線について、当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから、当該重複する部分を廃止することとし、当該路線の終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第104号	市道の路線の変更について（東282号線）	当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから、当該重複する部分を廃止するとともに、現況に即した路線とすることとし、当該路線の起点及び終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第105号	市道の路線の変更について（東283号線）	当該路線の一部が鬼怒川サイクリングロードと重複することから、当該重複する部分を廃止することとし、当該路線の終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第106号	令和5年度常総市一般会計補正予算（第6号）	補正予算の増額 4億2,416万7,000円 補正予算後の総額 254億8,200万9,000円	可決
議案第107号	令和5年度常総市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額 2,614万1,000円 補正予算後の総額 66億9,081万1,000円	可決
議案第108号	令和5年度常総市介護保険特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額 1億4,786万1,000円 補正予算後の総額 55億4,648万7,000円	可決
議案第109号	令和5年度常総市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額 32万3,000円 補正予算後の総額 1,966万5,000円	可決
議案第110号	令和5年度常総市水道事業会計補正予算（第1号）	資本的予算 収入 8億5,007万2,000円 支出 12億6,822万4,000円	可決
議案第111号	令和5年度常総市下水道事業会計補正予算（第1号）	収益的予算 収入・支出 14億8,515万3,000円 資本的予算 収入 13億9,207万6,000円 支出 16億4,236万1,000円	可決
議案第112号	令和5年度常総市一般会計補正予算（第7号）	補正予算の増額 5億5,694万3,000円 補正予算後の総額 260億3,895万2,000円	可決
議案第113号	常総市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	令和6年1月20日をもって任期満了となることから、引き続き浅野宏美氏を選任するもの	同意
請願第2号	脳脊髄液減少（漏出）症医療改善に関する請願	・県内に専門医のいる拠点となる病院を一か所確保すること ・県は厚生労働省において早急に難治性患者の診断基準、治療体制を確立するために治療方法を研究すること。更に、難治性患者を指定難病へ追加することを国に対し働きかけをすること 以上の件に係る意見書を県へ提出することを求めるもの	趣旨採択
請願第3号	「千葉市再生資源物の屋外保管に関する条例」と同様の条例を常総市においても制定していただくこと	12月定例会議において、千葉市同様の「再生資源物の屋外保管に関する条例」の制定を求めるもの	不採択
選挙第8号	常総市選挙管理委員会委員の選挙について	選挙により次の者を任命するもの （五月女安彦氏、岡田宏美氏、松崎和江氏、塚田則子氏）	当選
選挙第9号	常総市選挙管理委員会補充員の選挙について	選挙により次の者を任命するもの （荒木悟志氏、石塚克明氏、渡辺喜美子氏、沼尻修哉氏）	当選

《会議の欠席等の状況》

11月21日【議会運営委員会】(遅参)草間典夫、遠藤章江、岡野一男
12月21日【議会運営委員会、予算特別委員会、議員全員協議会】(欠席)中村博美

令和5年12月 定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。○:賛成 ×:反対 業:棄権

会派	常総の志						令明会					無所属の会			未来		日本共産党	立憲民主党	会派所属無し	
議案番号	中島 義昭	塚本 治男	倉持 守	中村 博美	中村 安雄	坂巻 文夫	佐藤 剛史	柳井 喜吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	大澤 清	遠藤 章江	岡野 一男	坂野 茂実	小林 剛	堀越 道男	入江 赳史	柴 典明	茂田 信三
議案第106号	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×
請願第3号	×	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×

※議長は採決に加わらない

令和6年能登半島地震 災害義援金

令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」の義援金として、常総市議会議員一同より義援金20万円を、1月31日、坂巻議長、佐藤副議長より茨城新聞社土浦支社に届けました。この度の災害に際し、犠牲になった方々のご冥福を祈りするとともに、被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。



各行事への出席

2024 はたちのつどい



令和6年1月6日に地域交流センターにおいて、人生の節目をお祝いするとともに大人としての自覚を促す機会として「はたちのつどい」が開催されました。議長が出席し、お祝いの言葉を述べました。



常総市消防出初式



令和6年1月7日に本庁舎駐車場において、消防出初式が開催され、議長をはじめ各議員が参列し、消防車両や人員の行進、ポンプ車による放水などが行われました。



令和6年常総市賀詞交歓会



令和6年1月11日に地域交流センターにおいて、賀詞交歓会が開催され、議長をはじめ各議員が出席し、地域の方々や関係者などの参加者の方と新年の挨拶を交わし、相互間の親睦を深めました。



常任委員会 行政視察報告

総務委員会

と き：10月30日～31日
ところ：滋賀県湖南市



【地域づくりについて】



「自分たちのまちは自分たちでつくる」という考え方のもと、住民自らが考え、行動することで地域課題の解決や住民ニーズに合ったまちづくり活動を展開している、湖南市の地域団体『地域まちづくり協議会』を研修してきました。当市においても、令和4年度から地域との意見交換会がスタートし、地域の活性化に向けて動き出したところであり、研修を通して学んだ『地域まちづくり協議会』を参考として、今後の地域づくりを推進していきたいと思ひます。

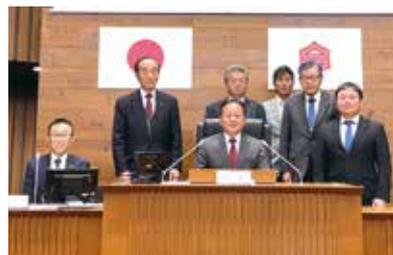
文教厚生委員会

と き：11月13日～15日
ところ：高知県 ①高知市 ②安芸市

【①高知子どもファンドについて】



「将来のまちづくりを支える人材育成」、「子どもを中心としたまちづくりの活性化」、「子どもにやさしいまちの実現」を目指し、子ども達の目線に重点を置いたまちづくりの活動で地域全体の活性化を図るため、その活動を支援する制度について研修してきました。



【②農福連携ケアシステムについて】



障がい者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みである農福連携において、官民の組織を超えた連携の必要性などについて研修を行い、農福連携を担う一般社団法人の現場を視察してきました。



建設経済委員会

と き：10月31日～11月1日
ところ：石川県かほく市

【移住・定住促進に向けた取り組みについて】



喫緊の課題である少子高齢化及び人口減少対策の一環として、先進地において移住・定住促進に関する様々な助成制度や先進的な取り組みについて学びました。当市においても、住んでみたい、住み続けたい、魅力的なまちづくりの実現に向けた取り組みを進めてまいりたいと思ひます。



常総橋百景

第十三景

平和橋

撮影地

常総市
川崎町



**常総橋百景
写真募集中!!**

「かけはし」では、あなたが撮影した常総市の橋百景を募集しています。撮影写真、撮影地、お名前、メッセージ（100文字程度）を添えて左記の住所までご応募ください。なお、応募いただいた写真は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

【議会事務局】

〒303-8501

常総市水海道諏訪町

3222-3

☎0297(2)0318

投稿者

佐藤 博久様

小貝川に架かる、川崎町とつくば市を結ぶ全長254mの「平和橋」です（昭和54年竣工）

3月 定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
					1 本会議 議員全員 協議会	2
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
	予算特別 委員会	予算特別 委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会	常任委員会		常任委員会		
24	25	26	27	28	29	30
	予算特別委員会 議員全員協議会 本会議					

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

▶ 常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



常総市議会 中継

LINE facebook 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



市ホームページ



かけはし 広報委員会

委員長：石塚 剛
副委員長：柳井 真吾
委員：吉原 晴照
柴 典明
中島 義昭
入江 昶史

常総市議会議長
坂巻 文夫

次回の3月定例会議では、令和6年度の当初予算が審議されます。市民の皆さんにも直結する事業や新たな事業が提案されると考えますので、市議会に関心を持っていただくようお願いいたします。
寒暖差のある季節がまだ続きますので、体調管理には十分注意しましょう。



「道の駅常総」の開業により半年で百万人の昨年、

議長のごひとこと